

基本方針 4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

重点目標 4-1	地域資料および古典籍の有効活用を図るとともに、大阪に関わる情報へのゲートウェイをめざして、データベースの拡充など、大阪のあらゆる分野に関する情報発信を強化します。				
評価 (25年度)	○	【評価の理由】 大阪文献データベースのデータ登録は計画通りに実施できた。特に、より精緻な検索に対応できるように、詳細な事項項目の追加を行った。 「デジタル大阪ポータル」(仮称)の実現に向けて、その核となる大阪文献データベースの機能強化案を作成した。今後はその案に基づき、具体的な仕様の作成を進めていく。			
重点指標		24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗(□は中間結果)
大阪関係コンテンツアクセス数		427,912	毎年 430,000	456,583	
大阪文献データベース新規登録数		2,610	毎年 2,650	2,650	
【アクション・プラン】					
	取組み		達成状況		
平成25年度	(1)レファレンス事例公開・大阪文献データベースへのデータ登録の推進 (2)「デジタル大阪ポータル」(仮称)実現に向けた大阪文献データベースの機能強化の検討		(1)大阪文献データベースのデータ登録は計画どおり実施 (2)従来提供してきた「貴重書画像データベース」等の各種画像データベースを再構築し、「おおさかeコレクション」として運用開始。大阪文献データベースの機能強化について検討		
平成26年度	(1)大阪文献データベースの機能強化案に基づき大阪府立図書館のデータベースや他機関の大阪関係のデータベースの情報も収集する「デジタル大阪ポータル」(仮称)の仕様を作成				
平成27年度					
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)					
- レファレンス事例を積極的にインターネットで公開していくことにより、大阪在住の利用者にはもちろん、大阪在住以外の利用者にも、当館所蔵の資料の紹介や、大阪について調査する際の参考資料および調査方法を提示する。 - 大阪に関係する図書、地域誌、広報誌などで取り上げられた細かい事象に関する記事は、書名からの蔵書検索や、一般的な雑誌記事検索のデータベースでは調査することが困難である。大阪文献データベースにこれらの記事を登録し、データベースを充実させることにより、図書館利用者の調査の便宜を図る。 - 図書館情報システムのリプレイスを機に、大阪文献データベースの機能強化の検討を行い、大阪のことなら何でもわかる「デジタル大阪ポータル」(仮称)をめざした取組みを進める。					

基本方針 4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

重点目標 4-2	地域資料および古典籍サービスにおける専門性を活かし、外部人材・機関とのネットワークを形成します。			
評価 (25年度)		【評価の理由】 連携事業数、研修実施回数は目標を大きく上回った。 連携事業については資料の紹介・展示、古典籍資料の調査・目録作成への協力により、より多くの人々に中之島図書館の所蔵資料をPRすることができた。 出前講習については府域図書館からの開催要望が多く、それに応える形で実施できた。		
重点指標	策定当初 23年度末	目標	25年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
連携事業数	3	毎年 3	6	
研修実施回数 (講師派遣回数を含む)	2	毎年 2	6	
【アクション・プラン】				
	取組み		達成状況	
平成 25 年度	(1) 研修の実施 出前講習等の企画・実施 (2) 連携事業 連携先の拡大に向けた取組みの推進 (3) 参加型事業の検討		(1) ・府域図書館への情報検出前講習(3回) ・図書館を学ぶ相互講座(1回) ・府立大学、奈良大学への図書館及び図書館資料についての紹介(2回) (2) ・織田作之助生誕 100 周年記念事業推進委員会、立命館大学アート・リサーチセンター、府立大学貴重書部会、高麗大学(韓国)、大阪府農政室、大阪府府民文化部と連携・協力 (3) 110 周年に向けて中之島図書館検定等の参加型事業を検討	
平成 26 年度	(1) 研修の実施 出前講習等の企画・実施 (2) 連携事業 連携先の拡大に向けた取組みの推進 (3) 110 周年に向けて参加型事業の実施			
平成 27 年度				
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入) ・蓄積してきた専門性を活かし、研修や講師派遣を積極的に実施することにより、外部人材とのネットワークを広げる。 ・耐震補強工事により自館での活動が制約される中、図書館はもちろん、他機関との連携事業や協力を進めて、前年度並みの実績を維持する。				

基本方針 4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

重点目標 4-3	大阪府の行政資料を中心に、デジタル形態で発行される資料の収集と提供を進めます。				
評価 (25年度)	○	【評価の理由】 電子資料検索システム「おおさかeコレクション」の運用開始により、デジタル形態で発行される大阪府行政資料の収集・提供を開始することができた。 また、これに先立ち、大阪府公文書館や統計課等への協力依頼を行った。円滑な運用体制の整備が今後の課題である。			
重点指標		24 年度末 実績	目標	25 年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
デジタル形態で発行される資料の 収集・提供		—	最終年度までに収 集・提供体制の構築	収集・提供 システムの 構築	
【アクション・プラン】					
	取組み		達成状況		
平成 25 年度	(1) 図書館情報システムのリプレイスに合わせ、デジタル形態で発行される資料の収集に向けた運用体制の整備 (2) 地方行政資料のアーカイブ機能について、大阪府庁全体での協議を開始		(1) システムリプレイスにより電子資料検索システム「おおさかeコレクション」を公開。その中でデジタル形態で発行される大阪府の行政資料の収集・提供を開始 (2) 「おおさかeコレクション」の構築にあたり、大阪府公文書館に事情説明及び協力要請。また、大阪府各部局に協力依頼文書を配布		
平成 26 年度	(1) 従来の紙媒体に加え、デジタル形態で発行される大阪府の行政資料の収集・提供体制を整備				
平成 27 年度					
【アクション・プランのねらい】（25 年度当初に記入） ・ 図書館情報システムのリプレイスに合わせ、大阪府の行政資料を中心に、デジタル形態で発行される資料の収集・提供について検討し、その円滑な運用体制を整備する。					